無印良品

ファイルボックス型 Bluetooth スピーカー
型番：MJFSP-1

取扱説明書

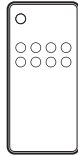
- お買い上げありがとうございました。
- ご使用の前に、この取扱説明書を必ずお読みのうえ正しくお使いください。
- この取扱説明書は必ず保管してください。

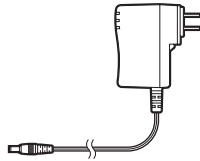
D01218201A

目　次

付属品の確認

万一、付属品に不足や損傷がありましたら、お買い上げになった販売店にご連絡ください。

リモコン ×1

リモコン用マンガン電池 (単 4)×2

専用 AC アダプター ×1
(GPE248-120200-Z)

ステレオリンクケーブル (2.5m) x1

取扱説明書 (保証書付き) (本書) ×1

使用上の注意

- 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が高くなるところに置かないでください。また、アンプなど熱を発生する機器の上には置かないでください。変色や変形、故障の原因となります。
- テレビ放送の電波状態により、本機の動作中にテレビをつけると画面にしま模様が出る場合がありますが、本機やテレビの故障ではありません。このような場合は本機を待機状態にするか、専用 AC アダプターをコンセントから抜いてください。
- 専用 AC アダプターをコンセントに差し込んだときはスタンバイ状態となり、本機で待機電力が消費されます。

音のエチケット

楽しい音楽も、場合によっては大変気になるものです。静かな夜間には小さな音でもよく通り、隣近所に迷惑をかけてしまうことがあります。

適当な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドホンを使用するなどして、お互いに快適な生活環境を守りましょう。
このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。

<table>
<tr><td> 警告</td><td>以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、火災や感電などによって、死亡や大怪我などの人身事故の原因となります。</td></tr>
<tr><td rowspan="5">
専用ACアダプターをコンセントから抜く</td><td>万一、異常が起きたら
煙が出たり、変なにおいや音がするときは。
機器の内部に異物や水などが入ったときは。
この機器を落としたり、破損したときは。
すぐに専用ACアダプターをコンセントから抜いてください。
異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。販売店に修理をご依頼ください。</td></tr>
<tr><td>本製品の取り付け、取り外しの際は、必ず専用ACアダプターをコンセントから抜いてから行う。
専用ACアダプターをコンセントに接続したまま行うと感電や故障の原因となることがあります。</td></tr>
<tr><td>移動させる場合は、必ず専用ACアダプターをコンセントから抜く。
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。</td></tr>
<tr><td>旅行などで長期間この機器を使用しないときは、安全のため必ず専用ACアダプターをコンセントから抜く。</td></tr>
<tr><td>お手入れの際は安全のため専用ACアダプターをコンセントから抜く。</td></tr>
<tr><td>
禁止</td><td>電源コードを傷つけない。
電源コードの上に重いものをのせたり、コードを本機の下敷きにしない。
電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったりしない。
コードが破損すると火災・感電の原因となります。万一、電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)、販売店に交換をご依頼ください。</td></tr>
</table>

警告

以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、火災や感電などによって、死亡や大怪我などの人身事故の原因となります。

禁止

専用 AC アダプターにほこりをためない。
専用 AC アダプターとコンセントの間にゴミやほこりが付着すると、火災・感電の原因となります。専用 AC アダプターをコンセントから抜いてから、ゴミやほこりを取り除いてください。

交流 100 ボルト以外の電圧で使用しない。
この機器を使用できるのは日本国内のみです。交流 100 ボルト以外の電圧で使用しないでください。また､船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。

この機器に付属の専用 AC アダプター以外は使用しない。
この機器に付属の専用 AC アダプターを他の機器に使用しない。
故障、火災、感電の原因となります。

電源コードを熱器具に近付けない。
コードの被ふくが溶けて、火災･感電の原因となることがあります。

専用 AC アダプターを抜くときは、電源コードを引っ張らない。
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

機器の上に花びんや水などが入った容器を置かない。
内部に水が入ると火災・感電の原因となります。

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない。
湿気やほこりの多い場所に置かない。風呂、シャワー室では使用しない。
調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所や熱くなる場所に置かない。
火災・感電やけがの原因となることがあります。

安全にお使いいただくために（続き）

警告	以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、火災や感電などによって、死亡や大怪我などの人身事故の原因となります。
分解禁止	**この機器および付属部品を分解しない。** 分解すると、火災・感電の原因となります。内部の点検・修理は販売店にご依頼ください。
	この機器および付属部品を改造しない。 火災・感電の原因となります。
強制	**この機器を設置する場合は、放熱をよくするために他の機器との間は少し離して置く。** **ラックなどに入れるときは、機器の天面から 5cm 以上、背面から 10cm 以上のすきまを空ける。** 内部に熱がこもり、火災の原因となります。
	近くに可燃物を置かない。

電池の取り扱いについて

本製品は電池を使用しています。誤って使用すると、電池の破裂、発火、発熱、液漏れなどにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがありますので、以下の注意事項を必ず守ってください。

	警告 乾電池に関する警告
禁止	**乾電池は絶対に充電しない。** 破裂、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となります。

	警告 電池に関する警告
強制	**電池を入れるときは、極性表示 (プラス ⊕ とマイナス ⊖ の向き) に注意し、電池ケースに表示されているとおりに正しく入れる。** 間違えると電池の破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
	長時間使用しないときは電池を取り出しておく。 液が漏れて火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液が漏れた場合は、電池ケースに付いた液を良く拭き取ってから新しい電池を入れてください。また、万一漏れた液が身体に付いたときは、水で良く洗い流してください。
禁止	**指定以外の電池は使用しない。** **新しい電池と古い電池、または種類の違う電池を混ぜて使用しない。** 破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を汚損することがあります。
	炎天下の車内や暖房器具のそばなど、温度が高くなるところで保管しない 本体の変形によるショートや発火、故障、電池の劣化の原因となります。
分解禁止	**分解しない。** 電池内の酸性物質により、皮膚や衣服を損傷する恐れがあります。

	注意 電池に関する注意
禁止	**金属製の小物類と一緒に携帯、保管しない。** ショートして液漏れや破裂などの原因となることがあります。
	電池を熱したり、火または水に投げ入れたりしない 電池の破裂、液漏れにより、火災･けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

電波について

- 本機は電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として技術基準適合証明を受けています。したがって、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。ただし、以下の事項を行うと、法律で罰せられることがあります。
  - ・分解 / 改造すること
  - ・本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと

本機は、2.4GHz 帯を使用します。変調方式として FH-SS 変調方式を採用し与干渉距離は 10m です。
本製品は、日本国内でのみご使用ください。

- 本機は電波を使用しているため、第 3 者が故意または偶然に傍受することが考えられます。重要な通信や人命にかかわる通信には使用しないでください。
通信時に、データや情報の漏洩が発生しても責任を負いかねます。予めご了承ください。

- 次の場所で本機を使用すると、再生音が途切れる、またはノイズなどが出る場合がありますので、ご注意ください。
  - ・2.4GHz 用周波数帯域を利用する、無線 LAN、電子レンジ、デジタルコードレス電話、Bluetooth などの機器の近く。
電波が干渉して音が途切れることがあります。
  - ・ラジオ、テレビ、ビデオ機器、BS/CS チューナーなどのアンテナ入力端子を持つ AV 機器の近く。
音声や映像にノイズがのることがあります。

本機使用上の注意

本機の使用周波数は 2.4GHz 帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、免許を要する工場の製造ラインで使用されている移動体識別用の構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局や免許を要するアマチュア無線局などが運用されています。
他の機器との干渉を防止するために、以下の点に十分ご注意いただきご使用ください。

- ・本機を使用する前に、近くで他の無線局が運用されていないことを確認してください。
- ・万一、本機と他の無線局との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、使用を停止してください。
- ・不明な点その他にお困りのことが起きたときは、お買い上げの販売店または株式会社良品計画お客様室（本書裏表紙に記載）へお問い合わせください。

Bluetooth® について

携帯電話等 Bluetooth 機器と本機の距離は約 10m 以内で使用してください。
ただし使用状況によっては通信有効範囲が短くなることがあります。

全ての Bluetooth 機能対応製品とのワイヤレス通信を保証するものではありません。
本機と Bluetooth 対応機器との互換性については、各 Bluetooth 対応機器に付属の取扱説明書を参照するか、お買い上げの販売店、または株式会社良品計画 お客様室（最終ページに記載）にお問い合わせください。

各部のなまえ（本体）

トップ

フロント

0000:00

ディスプレー

リモコン受光部

スピーカー

フロントグリル

バスレフポート

リア

FM アンテナ

STEREO LINK
IN OUT

ステレオリンク端子
(STRERO LINK)

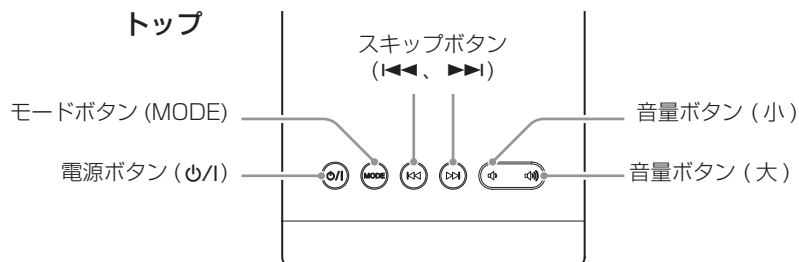
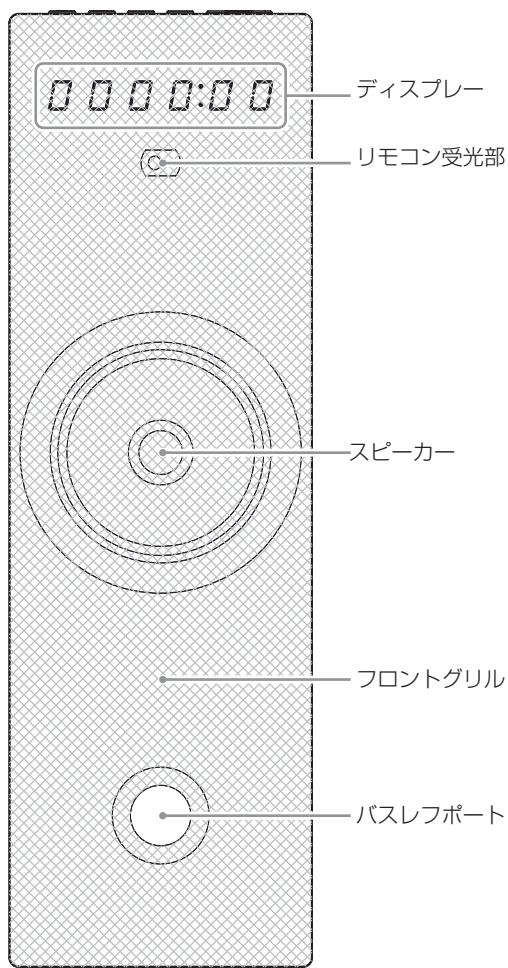
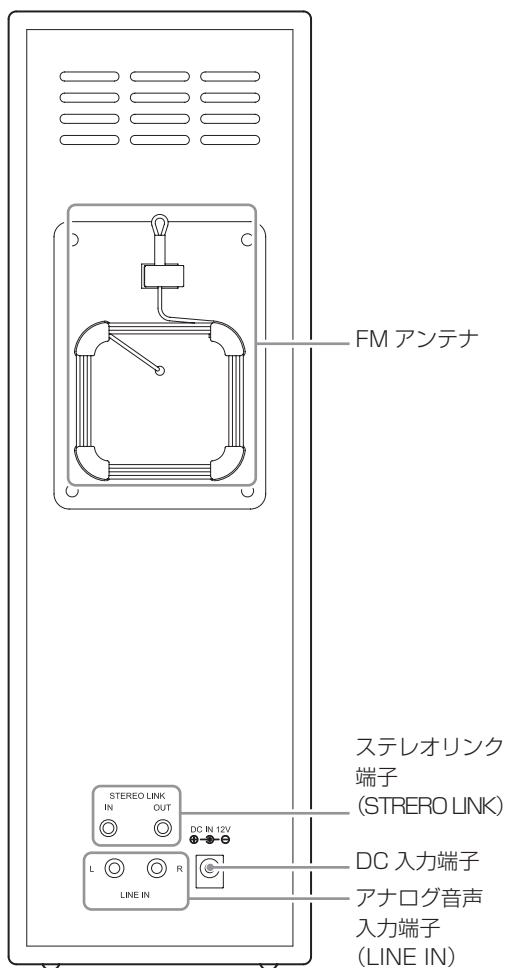
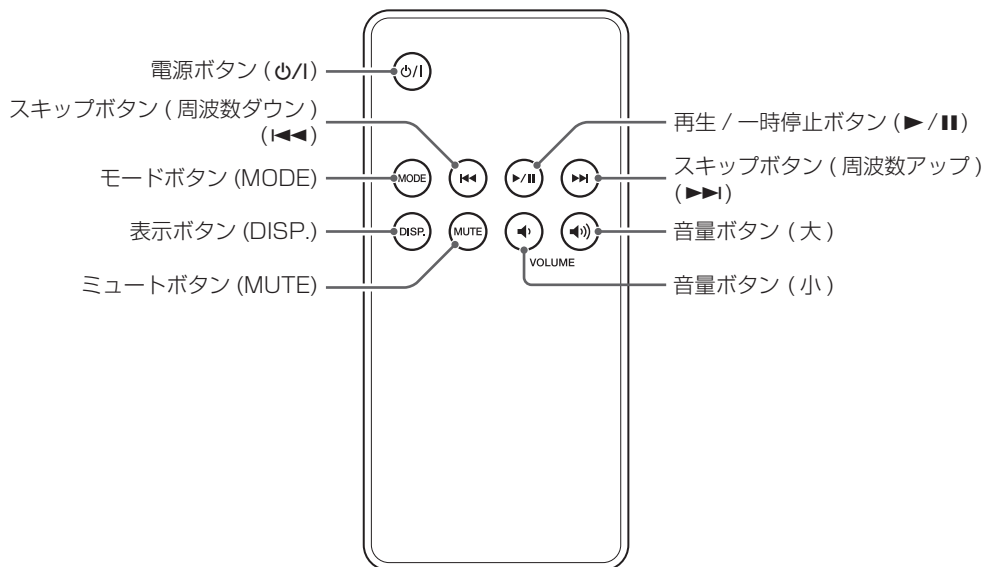
DC IN 12V

DC 入力端子

L R
LINE IN

アナログ音声入力端子
(LINE IN)

各部のなまえ (リモコン)

電源ボタン (⏻/I)
スキップボタン (周波数ダウン)
(I◀◀)
モードボタン (MODE)
表示ボタン (DISP.)
ミュートボタン (MUTE)
再生 / 一時停止ボタン (▶ / II)
スキップボタン (周波数アップ)
(▶▶I)
音量ボタン (大)
音量ボタン (小)
⏻/I
MODE
DISP.
MUTE
VOLUME

リモコン使用上の注意

- リモコンの先端を本体のリモコン受光部に向けて、5 メートル以内の距離で操作してください。本体とリモコンの間には障害物を置かないでください。
- リモコンの受光部に直射日光や照明の強い光が当たっていると、リモコン操作ができないことがあります。
- 本機のリモコンを操作すると、赤外線によりコントロールする他の機器を誤動作させることがありますのでご注意ください。

電池の入れ方

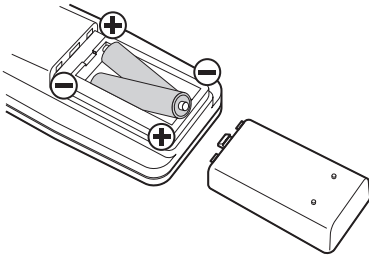
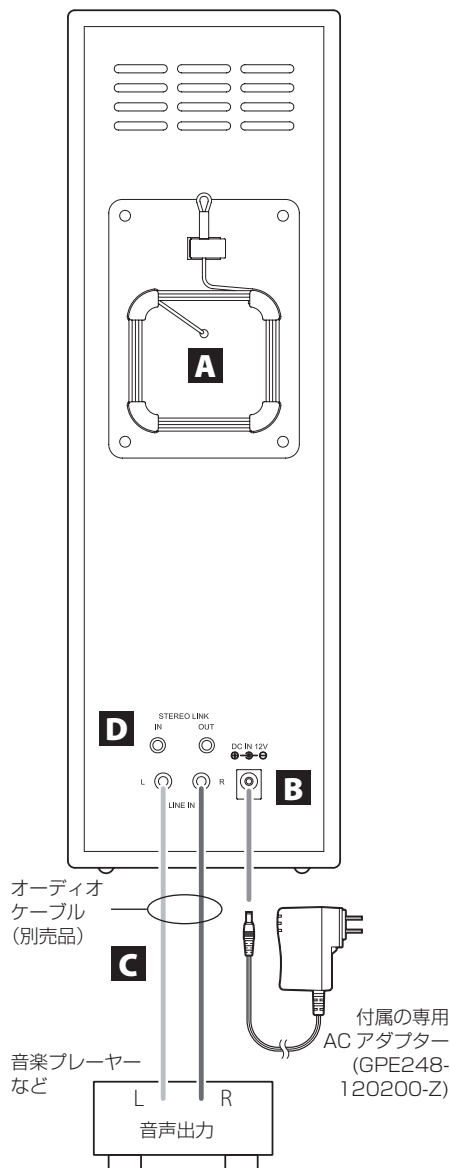
リモコン裏面のフタを外し、ケースの ⊕ と ⊖ の表示に合わせて乾電池 (単４形)2 本を入れて、フタを閉めてください。

電池の交換時期

操作範囲が狭くなったり、操作キーを押しても動作しない場合は、2 本とも新しい電池に交換してください。
使い終わった電池は電池に記載された廃棄方法、もしくは各市町村指定の廃棄方法にしたがって捨ててください。

⚠ 警告

電池を誤って使用すると、電池の破裂、発火、発熱、液漏れにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。7 ページの警告をよく読んでお使いください。

接　続

A FM アンテナ

背面に巻き付けられている FM アンテナを外して、最も良く受信できる位置まで F M アンテナを伸ばしてください。

B DC 入力端子 (DC IN)

他の全ての接続が終わったら、付属の専用 AC アダプター (GPE248-120200-Z) をこの DC 入力端子に接続し、専用 AC アダプターを交流 100V の電源コンセントに差し込んでください。

- 電源コンセントに付属の専用 AC アダプターを差し込むと、本機は自動的にスタンバイ状態になります。
- 長期間使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いておいてください。

⚠ 交流 100 ボルト以外の電圧で使用しないでください。

火災・感電の原因になります。また、電源の抜き差しは、必ずプラグを持って行ってください。

C アナログ音声入力端子 (LINE IN)

2 チャンネルのアナログの音声を入力します。
市販のオーディオケーブルを使って、音楽プレーヤーなどと本機のアナログ音声入力端子 (LINE IN) を接続してください。
オーディオケーブルは白のピンプラグを白 (L) 端子に、赤のピンプラグを赤 (R) 端子に接続してください。

- 本機単体で使用する場合は、L+R の音声がスピーカーから出ます。
- オーディオケーブル接続時は本機の音量を「00」にしてください。音量が上がったままですと、スピーカーから大きなノイズが発生し故障の原因となります。（19 ページ）

D ステレオリンク端子 (STRERO LINK)

本機を 2 台使用して L、R の 2 チャンネルステレオで使用する場合は、左チャンネル (Lch) として使う機器の OUT 端子と右チャンネル (Rch) として使う機器の IN 端子を付属のステレオリンクケーブルで接続してください。(24 ページ)

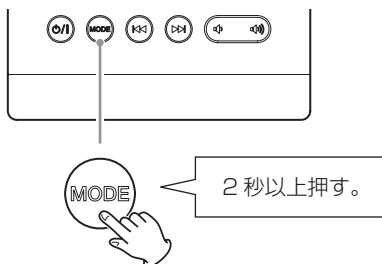
- ステレオリンク接続時は本機の音量を「00」にしてください。音量が上がったままですと、スピーカーから大きなノイズが発生し故障の原因となります。(19 ページ)

時計の設定

お使いになる前に、現在時刻の設定をしてください。電源がスタンバイ / オンのどちらの状態でも設定できます。

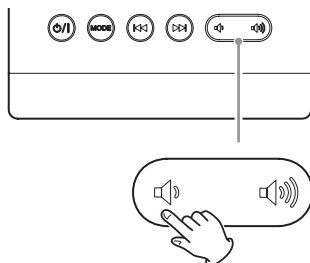
1 モードボタン (MODE) を2秒以上押して、時刻合わせモードにする(「時」を点滅させる)。

表示例

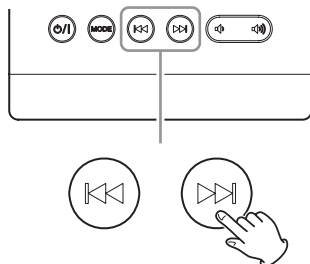
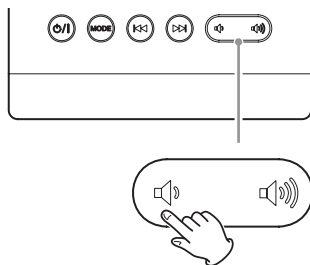
0:00

ディスプレーの「時」表示が点滅したら指を離してください。

注意

時刻合わせモード中に 10 秒以上放置すると、時刻合わせモードが解除されます。

2 音量ボタンを押して「時」を合わせる。

3 スキップボタン (⏮、⏭) を押して「分」表示を点滅させる。

表示例

13:00

4 音量ボタンを押して「分」を合わせる。

5 必ず最後にモードボタン (MODE) を押して設定を終了します。

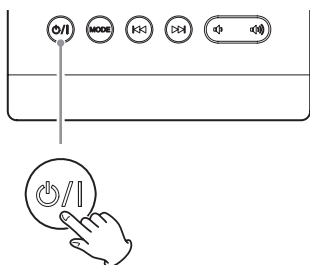
時刻合わせモードが終了し、合わせた「分」の0秒からスタートします。

- 合わせた時刻は、モードボタン (MODE) を押さないと設定されません。
- 時計は、電源がスタンバイのときも、常にディスプレーに表示されます。

ディスプレーを消すには

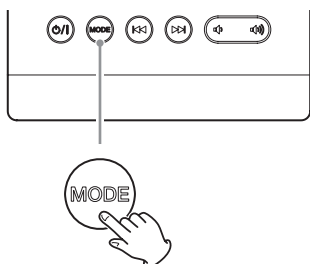
- リモコンの表示ボタン (DISP.) を押すと表示を消灯できます。再び表示ボタン (DISP.) を押すと点灯できます。
- ディスプレーが消灯状態でも、モードボタン (MODE) を押して他のモードに切り換えた場合には、切り換えたモードの表示を 5 秒間点灯し、時計表示に戻ります。

Bluetooth 機器の音を聴くには

1 電源ボタン (⏻/I) を押して本機の電源をオンにする。

表示例

ディスプレーの「：」表示が点灯から点滅に変わります。

- リモコンの電源ボタン (⏻/I) も使用できます。

2 モードボタン (MODE) を何回か押して、ディスプレーに「BT」を点滅表示させる。

ソースが Bluetooth モードになります。

- 本機を Bluetooth モードにすると Bluetooth インジケーターが点滅し Bluetooth 機器とのペアリングまたは接続が可能な状態になります。

- リモコンのモードボタン (MODE) も使用できます。

- 本機は最後に電源をスタンバイにしたときのモードを保持します。
  前回、Bluetooth モードで電源をスタンバイにした場合は、ここでの操作は不要です。
  ただし、専用 AC アダプターをコンセントから抜いた場合や電源コードを専用 AC アダプターから外した場合、本機は初期状態 (BT モード、音量 10) になります。

3 Bluetooth 機器とのペアリングおよび接続を行う

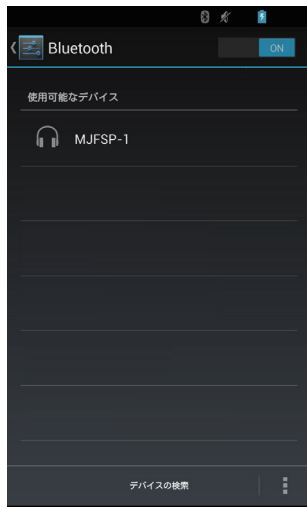
Bluetooth 機器とのペアリング

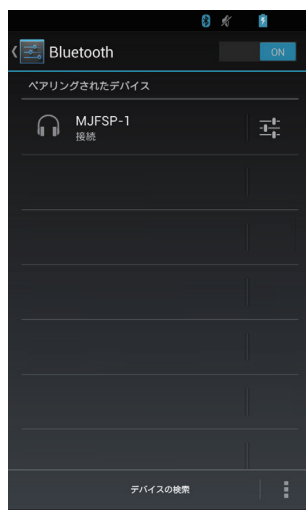
本機を初めて使用する場合または新しい Bluetooth 機器を本機に接続する場合は、本機と Bluetooth 機器をペアリングする必要があります。
本機を Bluetooth モードにした状態で、Bluetooth 機器側のペアリングを行ってください。
すでにペアリング済みの場合は、「ペアリング済みの Bluetooth 機器と接続する」の操作を行ってください。
本機を複数台所有している場合は、ペアリングしようとする MJFSP-1 以外の MJFSP-1 の電源を切ってください。

スマートフォンのペアリング設定例

Android 4.2 での設定例

1. [設 定] → [無 線 と ネ ッ ト ワ ー ク] → [Bluetooth] で [Bluetooth] を選択します。

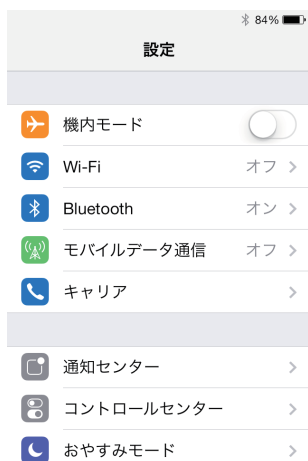
2. [Bluetooth] を ON にして、[デバイスの検索] を選択します。

3. 使用可能なデバイスに [MJFSP-1] が表示されたら、[MJFSP-1] を選択します。

4. [MJFSP-1] とのペアリングが完了し、接続状態となります。

- ペアリングが完了すると、[MJFSP-1] が [使用可能なデバイス] から [ペアリングされたデバイス] に移動します。

次のページに続きます

Bluetooth 機器の音を聴くには（続き）

iPhone iOS7 での設定例

1. [設定] → [Bluetooth] を選択します。

2. [Bluetooth] をオンにすると、デバイスに「MJFSP-1 ペアリングされていません」と表示されます。

3. 「MJFSP-1 ペアリングされていません」を選択すると、ペアリングが完了して接続状態となり、「MJFSP-1 接続されました」という表示になります。

4. [MJFSP-1] とのペアリングが完了すると、ディスプレーの「BT」が点灯に変わります。

- 表示は数秒後に時計表示に戻ります。

ペアリング済みの Bluetooth 機器と接続

通常は本機の電源をオンにした時に、Bluetooth 機器の電源がオンで、さらに Bluetooth 機能がオンになっていれば、自動で接続が行われます。
自動接続できない場合は、下記のスマートフォンの例のように手動接続を行ってください。

スマートフォンの手動による接続設定例

Android 4.2 での設定例

1. [設定] → [無線とネットワーク] → [Bluetooth] で [Bluetooth] を選択します。
2. [Bluetooth] を ON にすると、[MJFSP-1] が接続になります。

iPhone iOS7 での設定例

1. [設定] → [Bluetooth] を選択します。
2. [Bluetooth] をオンにすると､「MJFSP-1 接続されていません」と表示されます。
3. 「MJFSP-1 接続されていません」を選択すると [MJFSP-1] が接続になります。

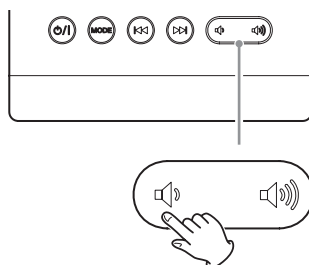
- Bluetooth 機器の画面でパスコードの入力を要求された場合は「0000」(ゼロ 4 つ）を入力してください。
- 本機と Bluetooth 機器が接続状態になると Bluetooth インジケーターは点灯状態になり、「ピピッ」と音が鳴ります。
- ペアリングおよびその後の接続は、Bluetooth 機器を本体から数 m 程度の範囲で行ってください。距離が離れすぎた場合、ペアリングおよびその後の接続ができなくなる場合があります。
- 本機前面の Bluetooth インジケーターが点滅状態のままで 10 分経過した場合、本機は自動的にスタンバイ状態になります。その場合は再度本機の電源を ON にしてください。
- 接続登録可能台数は 8 台です。9 台目の登録を行った場合は、登録履歴の古いものから削除され、新しい登録履歴のものから 8 台が接続登録状態になります。(同じ機器は何度登録しても 1 台となります。)
- Bluetooth 機器が接続状態のとき、本機を他のモード（アナログ音声入力、ラジオ）に切り替えても、Bluettoth 機能は接続されたままの状態を維持します。

⚠ 注意

本機、または Bluetooth 機器が接続待機状態にもかかわらず、Bluetooth インジケーターの点滅状態が長く続く場合は、本機と Bluetooth 機器の両方の電源を入れなおしてから、再度接続操作を行ってください。

4 ペアリング済みの Bluetooth 機器で音声ファイルを再生する。

- リモコンの再生 / 一時停止ボタン (►/❚❚) も使用できます。

5 音量ボタンを押して音量を調節する。

- リモコンの音量ボタン (VOLUME) も使用できます。
- 音量は 00 から MAX (32) の範囲で調節できます。(音量の初期値は 10 です。)
- 接続する機種により Bluetooth 機器の音量ボタンで音量が調節できない場合があります。詳しくは、お使いの機器に付属の取扱説明書をご覧ください。
- 接続する機器の音量が上がっていないと、本機の音が出ないことがあります。
- 接続する機器の音量を上げる過ぎると、音が歪むことがあります。その場合は、接続した機器の音量を歪みがなくなるまで小さくしてから、本機の音量を調節してください。

次のページに続きます ➡

Bluetooth 機器の音を聴くには (続き)

曲を選ぶには

前の曲に戻る

本機の ⏮ ボタンを押すか、Bluetooth 機器の ⏮ を押してください。

- リモコンの ⏮ ボタンも使用できます。

次の曲にすすむ

本機の ⏭ ボタンを押すか、Bluetooth 機器の ⏭ を押してください。

- リモコンの ⏭ ボタンも使用できます。

一時停止するには

Bluetooth 機器の一時停止ボタン (❚❚) を押してください。

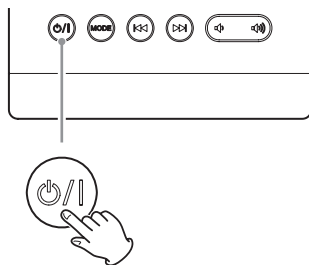
- リモコンの再生 / 一時停止ボタン (▶ / ❚❚) も使用できます。

消音するには

本機の音量を一時的に消音したい場合は、リモコンのミュートボタン (MUTE) を押してください。再度リモコンのミュートボタン (MUTE) を押すと消音する前の音量に戻ります。

電源をスタンバイにするには

本機またはリモコンの電源ボタン (⏻/I) を押し、本機の電源をスタンバイにした後、Bluetooth 機器の電源を切ります。

表示例

ディスプレーの「：」表示が点滅から点灯に変わります。

- 完全に電源をオフにしたい場合は、専用 AC アダプターをコンセントより抜いてください。
- 専用 AC アダプターをコンセントから抜いた場合や停電などにより電源の供給が止まった場合、設定した時刻の記憶は消去されます。

アナログ音声入力の音を聴くには

アナログ音声出力のあるオーディオプレーヤーなどと接続して本機より音を出すことができます。あらかじめオーディオプレーヤーなどと本機のアナログ音声入力 (LINE IN) を接続してください。(12 ページ)

1 電源ボタン (⏻/I) を押して本機の電源をオンにする。

表示例

13:00

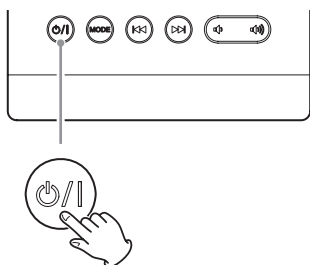
ディスプレーの「：」表示が点灯から点滅に変わります。

- リモコンの電源ボタン (⏻/I) も使用できます。

2 モードボタン (MODE) を何回か押して、ディスプレーに「LINE」を表示させる。

表示

LINE

ソースがアナログ音声入力 (LINE IN) になります。

- 表示は数秒後に時計表示に戻ります。
- リモコンのモードボタン (MODE) も使用できます。

3 接続した機器で再生を始めて本機の音量ボタンを押して音量を調整する。

- 接続したオーディオプレーヤー側の音量を上げすぎると、音が歪むことがあります。その場合は、接続した機器の音量を歪みがなくなるまで小さくしてから本機の音量を調節してください。

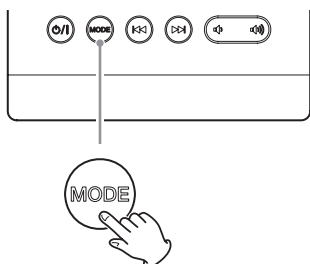
ラジオを聴くには

1 電源ボタン (⏻/I) を押して本機の電源をオンにする。

表示例

ディスプレーの「：」表示が点灯から点滅に変わります。

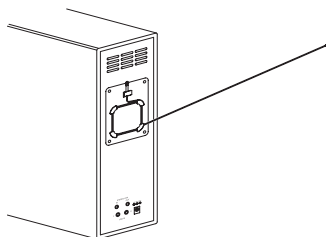
- リモコンの電源ボタン (⏻/I) も使用できます。

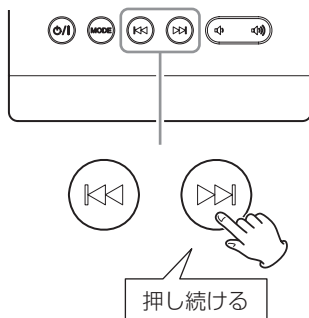
2 モードボタン (MODE) を何回か押して、ディスプレーに受信周波数を表示させる。

表示例

FM 76.5

ソースが FM になります。

- 表示は、数秒後に時計表示に戻ります。
- リモコンのモードボタン (MODE) も使用できます。

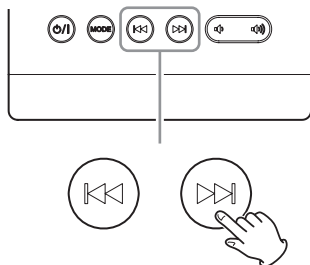
3 背面に巻き付けられている FM アンテナを外し、最も良く受信できる位置まで FM アンテナを伸ばしてください。

4 選局する。

自動選局

スキップボタン (I◀◀ / ▶▶I) を 2 秒以上押し続けて、ディスプレーの周波数表示が変わり始めたら指を離してください。
自動的に放送局を受信して、ディスプレーの周波数表示が止まります。

- 選局の途中で終了したい場合は、スキップボタン (I◀◀ / ▶▶I) を軽く押してください。

マニュアル選局

自動選局できない局を受信したい場合は、スキップボタン (⏮ / ⏭) をくりかえし押して、聴きたい放送局を選びます。

表示例

FM 76.5

- スキップボタン (⏮ / ⏭) を軽く押すと、周波数が 0.1MHz ずつ変わります。聴きたい放送局が受信されるまで、スキップボタン (⏮ / ⏭) をくりかえし押してください。
- リモコンのスキップボタン (⏮ / ⏭) も使用できます。

5 音量ボタンを押して音量を調節する。

表示例

VOL 05

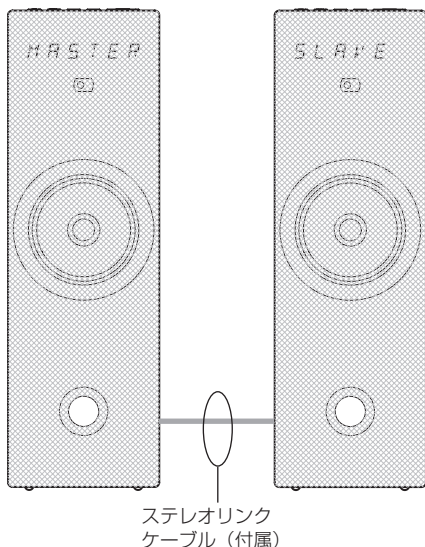
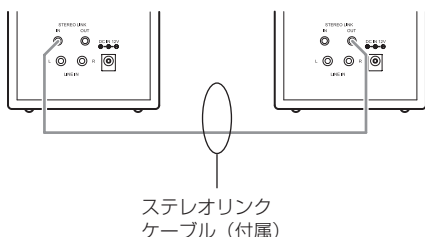
- 音量は、00 から MAX(32) の範囲で調節できます。

受信状態が悪いときは

受信状態が悪いときは、背面に巻き付けられている FM アンテナを外して、最も良く受信できる位置を探してください。

ステレオで使用するには

本機を2台用意して、左チャンネル (Lch) として使う機器のOUT端子と右チャンネル (Rch) として使う機器のIN端子を付属のステレオリンクケーブルで接続します。

接続図

左チャンネル (Lch) のOUT端子にステレオリンクケーブルを差し込むと、ディスプレーに「MASTER」が表示されます。
右チャンネル (Rch) のIN端子にステレオリンクケーブルを差し込むと、ディスプレーに「SLAVE」が表示されます。表示は、約10秒後に消えます。

注意

- 左チャンネルがマスター機になり、時計を表示し、ボタン操作を受け付けます。右チャンネルはスレーブ機になり、時計は表示されず、ボタン操作も受け付けません。
- アナログ音声入力端子 (LINE IN) を使用する場合は、左チャンネル (マスター機) のアナログ音声入力端子 (LINE IN) に音楽プレーヤーなどを接続してください。
- リモコンを使用する場合は、リモコンの先端を左チャンネルのリモコン受光部に向けて操作してください。
- FMアンテナはマスター機をご使用ください。
- ステレオリンク接続時は本機の音量を「00」にしてください。音量が上がったままですと、スピーカーから大きなノイズが発生し故障の原因となります。
- ステレオリンク接続時での再生中、ごくまれにノイズによる音切れなどの症状が発生する場合がありますが、故障ではありません。
- 付属のステレオリンクケーブル以外をご使用の場合は、市販の両端ステレオミニプラグケーブル（3m以下）をご使用ください。
  3m以上のステレオケーブルは、ノイズの影響を受ける場合があります。

困ったときは

本機の調子がおかしいときは、修理・サービスを依頼される前に以下の内容をもう一度チェックしてください。
それでも正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

一般

動作しない

➡ 専用 AC アダプターをコンセントに差し込んでください。
➡ 本機と専用 AC アダプターのコードの接続を確認してください。
➡ リモコンの電池を新しい電池に交換してください。

音が出ない

➡ 音量を調節してください。

リモコンで操作できない

➡ 電池が消耗していたら、新しい電池に交換してください。
➡ リモコンは本体の正面から 5 メートル以内の距離で、本体の方を向けて操作してください。
➡ 本体とリモコンの間に障害物があると操作できませんので、位置を調節してください。
➡ 本体の近くに強い光の照明がある場合は、照明を切ってください。

雑音がする

➡ テレビや電子レンジなど、電磁波を出すものからはできるだけ離して設置してください。

ラジオ

受信できない、受信状態が悪い

➡ 背面に巻き付けられている FM アンテナを外して、最も良く受信できる位置を探してみてください。

Bluetooth

ペアリングができない

➡ Bluetooth 機器の取扱説明書を参照してください。
➡ 本機と Bluetooth 機器の電源を一度切り、再び電源を入れてペアリングを試してください。
➡ ペアリングしようとする Bluetooth 機器以外の Bluetooth 機器の電源を切ってください。
➡ Bluetooth 機器側の「MJFSP-1」の登録を一度削除した後、再度ペアリングしてください。

接続ができない

➡ Bluetooth 機器の電源が入っているか、Bluetooth がオンになっているか確認してください。
➡ Bluetooth 機器との距離が離れすぎていませんか。あるいは、壁などでさえぎられていませんか。
➡ 本機の電源を切り、再度本機の電源をオンにしてください。
➡ Bluetooth 機器の「MJFSP-1」の登録を解除し「Bluetooth 機器とのペアリングを行う」の操作を行ってください。

音が途切れる

➡ 無線 LAN や他の Bluetooth 機器、電子レンジなどが近くにありませんか。なるべくそれらの機器から離してご使用ください。
➡ Bluetooth 機器と本機の距離を近づけてご使用ください。また、Bluetooth 機器や本機の位置を変えてください。
➡ スマートフォンで音楽再生以外のアプリが動作している場合は音が途切れる場合があります。
その場合は音楽再生以外のアプリの動作を止めてください。

本機はマイコンを使用しておりますので、外部からの雑音やノイズ等によって正常な動作をしなくなることがあります。このような場合は一旦、専用 AC アダプターをコンセントから抜き、しばらくしてから再び専用 AC アダプターをコンセントに差し込み、操作しなおしてください。

お手入れ

本体やリモコンの汚れは、薄めた中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いてください。
化学ぞうきんやベンジン、シンナーなどで拭かないでください。表面を傷める原因となります。
フロントグリルに付いたほこりは、洋服用のブラシなどで取ってください。

⚠ 警告

お手入れは安全のため専用 AC アダプターをコンセントから抜いて行ってください。

仕　様

Bluetooth 部

バージョン 3.0
プロファイル . . . . .A2DP、AVRCP
コーデック . . . . SBC
コンテンツ保護 . . . . .SCMS-T 対応 *1
クラス . . . Class2 (最大到達距離　約 10m)

*1:SCMS-T 対応のため著作権保護された音楽やワンセグ音声の再生もできます。

チューナー部

受信周波数 . . . . 76.0MHz ～ 90.0MHz

スピーカー部

スピーカーユニット . . . . 3 インチフルレンジ型
定格インピーダンス 4Ω

アンプ部

定格出力 (EIAJ) 10W
周波数特性 . . 50Hz ～ 20kHz（70dB 基準）

一般

電源電圧・電源周波数
AC100V、50Hz/60Hz
定格消費電力（電気用品安全法に基づく表示）
24W
最大外形寸法 (本体部)
幅 100mm　高さ 318mm　奥行 276mm
(突起部含む)
重量（専用 AC アダプターを除く）. 2.8kg

電源

専用 AC アダプター（GPE248-120200-Z、付属）
入力 100-240V 50/60Hz 0.75A
出力 12V 2000mA 24W
コード長 1.5m

付属品

リモコン ×1
リモコン用マンガン電池（単 4) ×2
専用 AC アダプター ×1
(GPE248-120200-Z)
ステレオリンクケーブル (2.5m) ×1
取扱説明書 (保証書付き)(本書) ×1

仕様および外観は改善のため予告なく変更することがあります。

取扱説明書のイラストが一部商品と異なる場合があります。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

■ 保証書
保証書はこの取扱説明書についておりますので、保証内容などをよくお読みいただき貼付用レシートとともに大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日より一年間です。

■ 補修用性能部品の保有期間
この商品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切り後６年です。
この期間は経済産業省の指導によるものです。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 修理を依頼されるときは
お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

保証期間中は
お買い上げの販売店に保証書をそえて商品をご持参ください。
保証の規定にしたって販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは
お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

■ アフターサービスについてご不明な点は
修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店、または株式会社良品計画 お客様室までお問い合わせください。

株式会社　良品計画

〒170-8424　東京都豊島区東池袋4-26-3
お客様室電話　フリーダイヤル 0120-14-6404
平日　10:00〜21:00
土・日・祝　10:00〜18:00

無印良品　ファイルボックス型 Bluetooth スピーカー保証書

持込修理

型　番	MJFSP-1	
保証期間	本　体	お買い上げ日より一年間 消耗品は保証対象外

お買い上げ日		年　　月　　日
お客様	お名前	様
	ご住所	〒 電話　　　（　　　）

本書は、記載内容の範囲で無料修理をさせていただくことをお約束するものです。保証期間中に故障が発生した場合は、お買い上げの販売店に修理をご依頼のうえ、本書をご提示ください。お買い上げ時の【保証書貼付用】レシートは、「保証書貼付用レシート貼付欄」に貼付の上、保管してください。ご転居・ご贈答品などでお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合は、株式会社良品計画 お客様室にお問い合わせください。本書は再発行いたしません。大切に保管してください。

保証書貼付用レシート貼付欄

レシートが未貼り付けの場合は無効です。

※ ネットストアご購入の場合、お買い上げ日シール（店舗印）の同梱はございません。
お買い上げ日は、ネットストアマイページ「注文履歴」にてご確認をお願い申し上げます。

無料修理規定

本証は、本書記載内容で、無料修理させていただくことをお約束するものです。

1. お客様の取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に沿った正常なご使用状態で、保証期間中に故障した場合には、商品と本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。無料修理をさせていただきます。
2. なお、保証期間中の修理など、アフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げの販売店へご相談ください。
3. 次のような場合は、保証期間中でも有料修理になります。
   (1) ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷。
   (2) お買い上げ後の落下や輸送上の故障、および損傷。
   (3) 火災、ガス害、地震、風水害、落雷、異常電圧、およびその他の天災地変による故障および損傷。
   (4) 本書のご提示がない場合。
   (5) 本書にお客様名、お買い上げ日、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書きかえられた場合。.
   (6) 一般家庭用以外（たとえば業務用など）にご使用の場合の故障および損傷。
   (7) ご使用後のキズ、変色、汚れ、及び保管上の不備による損傷。
   (8) 消耗部品の交換。
4. 本書は国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.
5. ご転居、ご贈答品などで、お買い上げの販売店に修理依頼できない場合には、株式会社良品計画 お客様室へご相談ください。
6. ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げ販売店に修理がご依頼できない場合には、株式会社良品計画 お客様室にご相談ください。
7. 出張修理をご依頼の場合は、出張に要する実費を申し受けます。

※ この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。なお、ご不明の場合は、お買い上げの販売店または株式会社良品計画 お客様室にお問い合わせください。

販売元
株式会社　良品計画
〒170-8424　東京都豊島区東池袋4-26-3
お客様室電話　フリーダイヤル 0120-14-6404
平日　10:00～21:00
土・日・祝　10:00～18:00

製造元
ティアック株式会社
〒206-8530　東京都多摩市落合1-47